

会 議 録

◇詳細－企画課未来戦略推進第2グループ 電話03－4566－2518

附属機関又は 会議体の名称		令和6年度 第2回総合教育会議
事務局(担当課)		政策経営部企画課
開催日時		令和6年7月4日(木) 11時00分～12時00分
開催場所		教育委員会室(本庁舎8階)
案件		1. 豊島区教育大綱(案)の策定について
公開の可否	会議	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会議録	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委員	高際区長、金子教育長、新井委員、大澤委員、岩井委員、富士原委員
	事務局	政策経営部長、教育部長、庶務課長、教育施策推進担当課長、学務課長、放課後対策課長、学校施設課長、指導課長、教育センター所長、企画課担当、庶務課担当

【企画課長】

定刻となりましたので、これより令和6年度第2回総合教育会議を始めさせていただきます。本日傍聴者はございません。なお、富士原委員につきましては、遅れてご出席とのことです。それでは、議事進行につきましては、高際区長にお願いいたします。

【高際区長】

おはようございます。今回は2回目の総合教育会議となります。よろしくお願いいたします。

前回の素案の案を基に、たくさんのご意見を頂きました。お忙しい中ありがとうございました。皆さまからいただいたご意見も反映させていただきながら、素案を再度熟読し、検討いたしました。資料のご提供が直前となり大変申し訳ございませんが、我々も必死で検討している結果と受け止めていただければと思います。

本日また改めて皆さまにご意見をいただき、そちらを踏まえてもう1度検討させていただいたものを素案にし、今後パブリックコメントで区民の皆さまの意見を聞いていきたいと思っているところです。

また、参考に、小学校・中学校の校長先生からいただいたご意見をお付けしております。こちらも今回再検討する中でじっくり読みました。色々と貴重な意見をいただいていますので、できるだけ反映したいと思っております。

また、具体的な問題提起もしていただいているので、今回校長先生からいただいたご意見、ご指摘については、今後教育委員会あるいは総合教育会議の場などで、個別の課題として、意見交換をしていきたいと思っているところです。

それでは、早速議題に入りまして、大綱の素案の案の意見交換をしたいと思えます。まずは庶務課長から、大きな変更点について、説明をお願いします。

【庶務課長】

- ・「資料1『豊島区教育大綱 素案（案）』」について説明

【高際区長】

これから、お気づきの点等、ご意見をいただければと思います。全体を通して、この方針からでも結構でございます。

では、新井委員からお願いします。

【新井委員】

庶務課長からご説明いただいたとおり、多くの変更点があり、我々教育委員が提案させていただいたものも反映していただいていることに感謝申し上げます。前回よりも素晴らしい内容になっていて、教育の豊島という感じがいたしました。

方針の4つの項目についてですが、教育の方針や目標を示す場合には、その1つ目というのは、読む人がまず見る項目だろうと思いますし、一般的な理論を示す場だと思っています。学校の教育目標の1番は大体どの校長先生も力を入れて作り、教育とはこうだ、ということを訴えてきます。

方針1の、「未来を担う確かな学力と健康で活力に満ちた」という部分についてですが、「確かな学力」というのは、これまで学習指導要領が変わる度に言われてきており、さんざん議論されているものです。であるならば、豊島区は「確かな学力」というものをどう考えているのか、という部分を示すべきだと思います。

また、4つの方針のバランスからいって、4が5項目あるのに対し、1が3項目になっていますので、この1番を4項目にしたらどうでしょうか。例えば、方針の1番に、「生涯にわたる人格形成の基礎」というテーマが出ていて、2番目がいきなりデジタル機器の内容になっています。この内容から、豊島区は教育をデジタルでやっていく、というイメージを掴みやすく、納得はする部分です。ただ、もう少し泥臭いというか、子どもたちが先生に自ら質問して学んでいくというような、そういった部分を深めていくものがやはり教育、指導の側面にあると思っています。

また、方針4-④の学校図書館の問題がここに出てきていますが、こういうハードを作っていくということが大事だということは、当たり前のことだと思います。むしろ、学校図書館を自主的な学びのためにどう活用していくかが非常に大事だと思います。ですから、この教育方針で1の②あたりに、もっと主体性を伸ばす教育を進めていく、というようなことを入れてみたらどうでしょうか。

そして、4-④の菱形の「一部の学校では学習情報センター機能の整備が遅れています」というところは、一部の学校とは書かず、そういうことがあるというような書き方にしてはいかがかと思います。

方針4の中の設備面の格差については、素晴らしい修正をいただいたことに感謝しております。改修済みであろうが未改修であろうが、教師が指導員とどう連携し活用していくか、ということに尽きると思います。ですから、このように変えていただいたことに大変感謝をしております。以上です。

【高際区長】

ありがとうございました。本当に仰る通りだと思います。「確かな学力と健康で活力に満ちた子ども」というところは、やはりそれだけでいいのかなという思いがありま

したし、いきなりデジタルというのは、どうかなのかと私も気になっていたところです。これはこれで活かしつつも、今お話のあった、学ぶ喜びや、学ぶ楽しさを体感し、身に着けながら育ってほしいという思いを、最初のところに入れたと思います。

私が図書館に期待しているのはまさにそういうところで、本が好きな子になってほしいという思いもありますが、やはり、勉強することや、色々なことを知ることの楽しさを味わいながら大きくなってほしいという思いがありますので、そういった観点をぜひ入れていきたいと思いました。

学習情報センターも、進めていく上で、これからいかにその機能を活かしていくかというところに、力を注いでいくという書き方にしていきたいと思います。

では、新井委員の中でもお名前の出ました富士原委員いかがでしょうか。

【富士原委員】

区長や新井委員の仰る通りで、確かな学力とは未だに、3R's、読み、書き、計算というようなイメージが社会にはあります。それも大事ですが、それよりもやはり、学ぶ喜びや、学ぶ意欲については、前回の指導要領から、大変重視したものに変わったということもありますので、豊島区が考える確かな学力とは何かを、もう少し明確にさせていただけると、豊島区の先進性が伝わってくると思いました。

全体としてはよく練り直されており、充実したものになったと思いますが、いくつか気になった点がありました。

方針の1「幼児期からの切れ目のない教育」について、1-①は、幼児期と小学校の切れ目が論じられていますが、せめて中学校くらいまでは、もう少しその切れ目の中に意識して入れていただいてもいいと思います。

それと、4-①のところで、細かく見てみますと、学校と地域がつながること、家庭に対する区の施策としてはよくわかるのですが、学校・家庭・地域がつながっているという、特に家庭と学校がつながっているのがあまり見えないところが、少し気になりました。

それから、4-②「多様で特色のある」のところで、豊島区独自の特色はわかるのですが、「多様」というのは一体どの部分を指すのかが少しつかみにくいと感じました。

また、4-③で、「どの学校においてもより快適な学習環境を提供します」の「より」はなぜ付いているのか、「快適な学習環境を提供します」と言い切れないのはなぜか、というところが気になりました。以上です。

【高際区長】

ありがとうございます。「より」はいらないですね。切ります。

それから、「多様で特色のある」というのは、もう少しはつきり書いた方がいいと思いますが、今チームとしまで、280の企業と連携していて、様々な強みを持った企業、地域団体があるというのが豊島区の強みです。そういう人たちが、子どもたちのために何かやりたいということで、例えば、プロのサッカーチームがインクルーシブサッカー教室をやってくれたり、プロのダンスチームが無料で子どもたちにダンスを教えてくれたりというような、そういう多様性を言いたいので、もう少し工夫をしたと思いました。

4-③では、小中一体型の学校を作るので、「小中連携教育を」と入れているのですが、これは一体型であろうがなかろうが、ブロックごとで小中の連携を進めています。ただ、4-③自体がハード系で書いているところに、小中連携を入れているため、少し埋没しているので、再度考えたいと思いました。ありがとうございます。

では、大澤委員ご意見をどうぞ。

【大澤委員】

ありがとうございます。新井委員や富士原委員のお話を聞いて、感心いたしました。

校長先生の意見の中で、図書館のことを言ってらっしゃる方が1人いらっしゃいますが、今、図書館で、夢中になって本を読む子どもは果たしてどれくらいいるのでしょうか。私が子どもの頃は、司書さんはいなかったもので、自分で図書館なり、学校の図書室へ行き、面白い本を借りて読みながら世間を広げました。

また、高際区長の仰っているように、いろんな団体が協力してくれるということは、非常に恵まれている状況だと思います。それを子どもに言っても当たり前になってしまうかもしれませんが、親御さんにアピールをすることも大事だと思います。

【高際区長】

ありがとうございます。図書館、図書室、そういった地域の力というところは、私もこれから非常に期待をしていますので、そのあたりも豊島らしさ、豊島の強みがもっと出せるように最後まで表現を考えたいと思っています。

では岩井委員、お願いいたします。

【岩井委員】

親が、より安心して、子どもをこの区で育てたい、教育を受けさせたいと思える内容にどんどん近づいている感じがして、感心いたしました。

全体の印象といたしましては、方針も、です・ます調で柔らかい感じになり、さらに全体の6割くらいがひらがなになったことで、読み手にも優しい印象になったと思

います。なおかつ読み込んでいくと、内容は非常に現実に肉薄するものであり、このメリハリがとても良いと感じました。

そして、全部のページに記号の説明を入れていただきまして、初めて見る人にも優しく、人の気持ちを考えて作られていると感じました。もし可能であれば、これを囲みの近くに持ってくると、もう少し分かりやすいと感じました。

写真については、これからまた差し替えるということですが、可能であれば、子どもがいる写真があると良いと思います。やはり子どもの笑顔が全てを物語ると思いますので、子どもがのびのびと活動を楽しんでいる様子が入ってくると良いと思いました。

それから、先ほどの富士原委員のお話にあった、家庭と地域のつながりという点についてですが、これこそ PTA だと思いました。地域で行われる行事でも、家庭と地域がつながっていくことが期待できますし、保護者もお手伝いに行きますので、町会の方と一緒にって行事を成功させていく中で、つながりができていくのではないかと期待がございます。

もう一点は、4-①の中に、子どもスキップや、放課後の子どもたちが、というところがございますが、こちらもどんどん保護者の皆様にお手伝いや見守りをお願いし、学校に足を運んでいただきたいという思いがあります。放課後対策課の方でも安全管理員募集のポスターを作ったり、お手紙を学校で配ったりという取組みが進んでいますので、こちら也大いに期待ができるころだと思います。

最後に、例えば 4-①の通学路の合同点検の写真について、キャプションに「町会・商店街・PTA 等の周りの大人が全員で見守っています」といったような解説が入ると、グッと写真に読者が近づいたりする効果もあると思いました。

全体の印象としては以上です。ありがとうございました。

【高際区長】

ありがとうございました。他にもお気づきの点があればまたご意見をいただきまして、事務局と一緒に固めた上で、素案を議会に報告してパブコメに進めてまいりたいと思っております。

また、議会からも色々と意見は出ると思いますので、パブコメに出す最終素案の過程では、またメールなどでお送りして、最後の最後まで教育委員の皆さまと意見交換しながら固めてまいりたいと思っています。

岩井委員から仰っていただいたところですが、よく行政は何でも作って終わりになりがちです。しかし、教育大綱はみんなに読んでもらいたいと思っているので、読みたいなと思ってもらえるような、読みやすいものにしたいと思っています。

写真も全面的にオーダーをしています。これからこうしていきたい、というのが大

綱なので、これからこういうのをやっていくんだという、ワクワクするような写真に差し替えたいと思っていますので、またご覧いただければと思います。

では、この場でもう1巡ご意見をいただきたいと思います。新井委員どうぞ。

【新井委員】

方針が文章表記になって大変分かりやすくなったと思うのですが、句読点なので「、」を打ったら最後に「。」をつけていただけるといいと思います。

また、全体通して、やはり文言が多いと感じます。内容はよく分かるのですが、やはり文言が多いと、どうしても最後まで読み切らず、序盤で挫折するという傾向があります。

方針の1から4については、もっと端的に表したキャッチフレーズを出して、そのあとに、内容はこうです、と分かるような構図にするといいと思いました。そのフレーズを区民から募集するのもよいのではないかと思います。以上です。

【高際区長】

ありがとうございます。では、大澤先生。

【大澤委員】

皆さんの意見を聞いて感心するばかりで、意見が出なくて申し訳ないのですが、先ほどお話のあった、チームとしまの皆さんが子どもたちの活動を援助していますよ、というのはホームページなどで掲載されているのですか。

【高際区長】

ホームページ上で、企業の紹介、活動内容、強み、そして、どういった分野で社会貢献していきたいか、というのを分かるようにしています。様々な分野がある中で、やはり子どものために貢献をしたい、という企業は多い状況です。

【大澤委員】

わかりました。それがどうなっているのか気になったのでお聞きしました。ありがとうございました。

【高際区長】

では岩井委員、お願いいたします。

【岩井委員】

まず、「目指すまちの姿と目指す子どもの姿」、これが本当によく散りばめられていて効果的です。これはぜひ活かしていただいて、目指しているところに添って方針があり、そしてこの具体的な取組があるというのを、上手に入れていただきたいと思います。

そういった意味では、まだ入れられそうなところがあります。特に「まち」ですね。やはり、子どもはこの「まち」で育って、いずれは「まち」の人になっていくので、その流れがこの中に入り、読み終わった後に、何か心に残るよう、このキーワードを散りばめていけたら良いと思いました。

【高際区長】

ありがとうございます。では、富士原委員お願いします。

【富士原委員】

写真のことを全然気に留めていなかったのですが、先ほど岩井委員が仰られてから、ざっと見ました。やはり、学校関係の写真が、子どもがすごく受身で、何かしてもらっているような写真が多いので、もう少し、子どもが大人といきいきと関わっているような写真にしていただけることを期待いたします。特にデジタル機器を使ったところは、デジタル機器を使って、子どもが協働的に学び合っているような、そういう受身ではない写真になることを期待します。以上です。

【高際区長】

ありがとうございます。ここは教育部と一生懸命考えたいと思います。時間がない中で、いろいろご意見を賜りましてありがとうございます。

最後に、資料2をご覧ください。大綱の素案でも、頭のところに体系図というものを入れることにしております。豊島区全体ですと、基本構想という最上位の構想があり、それを実現するための最上位の具体の計画というのが基本計画になっております。そこに大綱があり、教育ビジョンがあり、教育ビジョンを基にした、子どもを取り巻く色々な計画なり、施策があります。その中で、今回の大綱はどこに位置するのか、という体系図を入れたいと思っています。

今私たちが考えているのが、資料2の頭につけているものです。これも変更は可能ですので、少し他の自治体の体系を眺めていただきつつ、違和感がないか、あるいは、この自治体のパターンの方が豊島区の教育を取り巻く環境等々考えると、近いのではないかな等のご意見がございましたら、お寄せいただけるとありがたいと思います。

今この時点で、ご質問や気になる点がありましたら、ご発言いただければと思います。

すが、よろしいでしょうか。

こちらも恐縮ですが、素案の頭に入りたいと思っておりますので、お気づきの点がありましたら月曜までにご意見をいただきますようお願いいたします。

では、今後のスケジュールについて、庶務課長からご説明します。

【庶務課長】

・「資料3『豊島区教育大綱パブリックコメントの実施について』」について説明

【高際区長】

最終決定をするのは10月ですので、今後も色々なご意見をいただいても大丈夫です。パブコメに向けて固めるまでの意見を月曜日までに、ということをお願いをいたしましたが、パブコメに入る前も、気づいたものは基本的に盛り込みたいと思いますし、パブコメ後、そしてこの10月の策定に向けても、ご遠慮なくお寄せいただければと思います。

重ね重ね大事な会議の前に、直前の資料提供になりましたことを、お詫びを申し上げますとともに、そういうタイトな中でも、今日も本当に重要なご意見を賜りましたことを感謝申し上げたいと思います。

では最後に教育長、お願いいたします。

【教育長】

ありがとうございました。先ほども区長から言っていただきましたが、パブリックコメントが終わりではないので、まだまだ目を皿にして見ていきたいなと思います。

今日も、言葉遣いも難しいなと思いながら見ていて、何箇所か気がついたところがあるので、後で事務局とまた頭を悩ませたいと思います。

一般的に意見をいただくのと、それから、ここまでの間にも非常にお世話になったビジョンの検討会の皆さまや、PTAの連合会の皆さまにご説明するような機会を設け、その際にお寄せいただいたご意見を踏まえて、委員の皆さんとまた検討し、最終的に決定いただくということを楽しみにしております。私からは以上です。

【高際区長】

では、以上で締めさせていただきます。どうもありがとうございました。